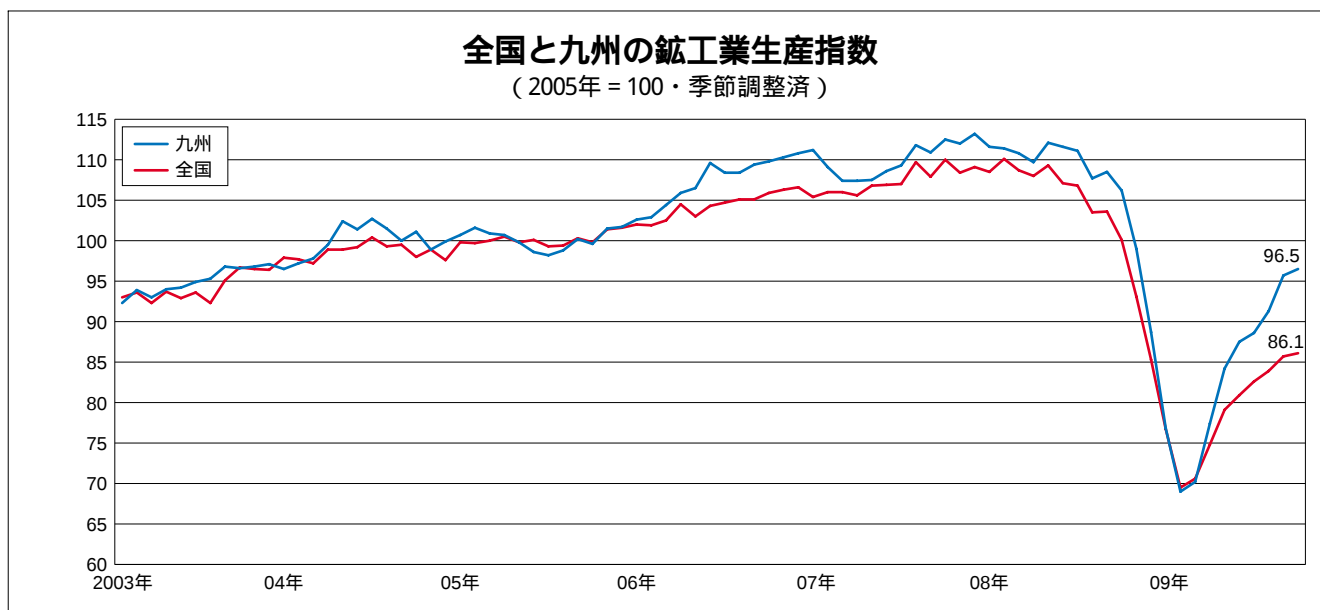


九州の鉱工業生産動向

[基調判断].....持ち直しの動きが持続している

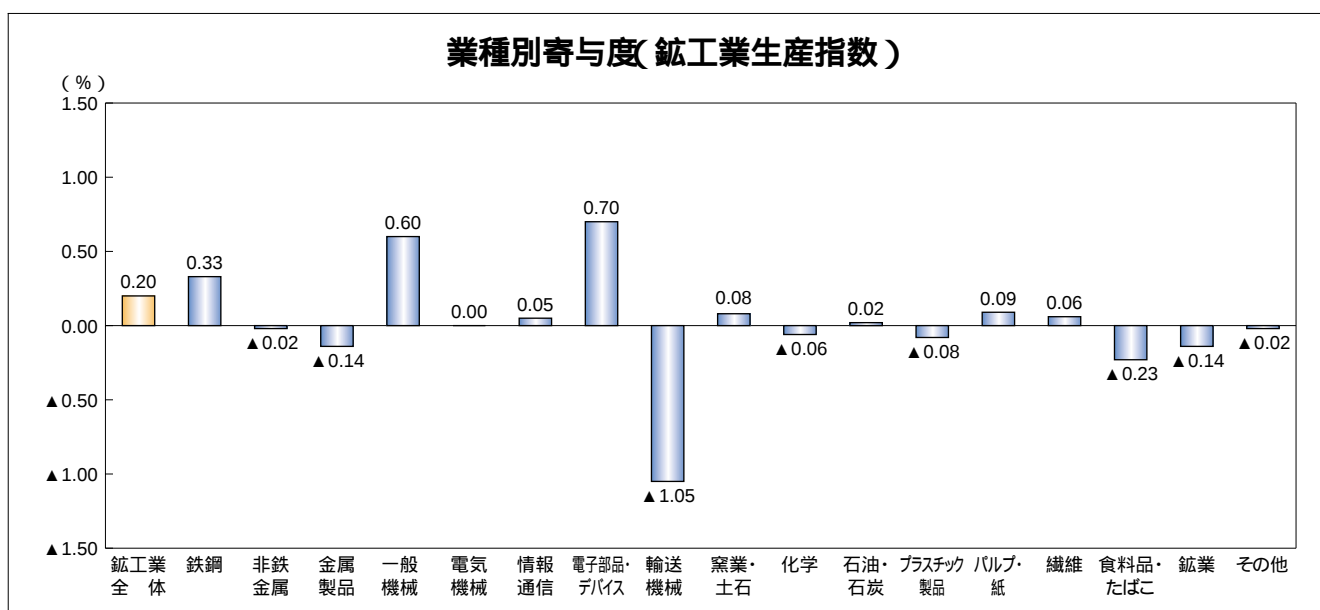
2009年10月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、半導体や一般機械などの生産が改善し、前月比0.2%上昇し8ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産は持ち直しの動きが持続しています。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向].....電子部品・デバイス工業、一般機械工業などで上昇

鉱工業生産指数の前月比0.2%上昇について、業種別に寄与度を見ると、国内向けゲームや携帯電話、家電用の部品生産で電子部品・デバイス工業、数値制御ロボットなどで増産している一般機械工業などが寄与しました。トータルでは全17業種中9業種でプラスとなりました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

[福岡県の景気].....先行き不透明ながら、持ち直し傾向が継続している

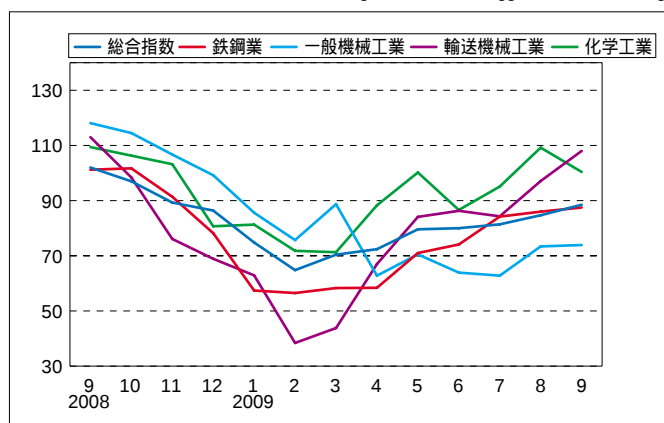
福岡県の景気は、生産活動の増加が持続しており、先行きについては不透明感があるものの、持ち直し傾向が継続しています。

生産活動は、多くの業種で前年同期比プラスとなり、総合指数は7ヵ月連続で前月比上昇しました。公共投資額は微減となりましたが、ほぼ前年並みの水準です。また、企業倒産は件数、負債総額ともに減少しています。

消費の面では、大型小売店販売額や住宅投資は依然として前年割れが続いているものの、マイナス幅は縮小しています。

[生産活動].....総合指数は7ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



(出所)福岡県

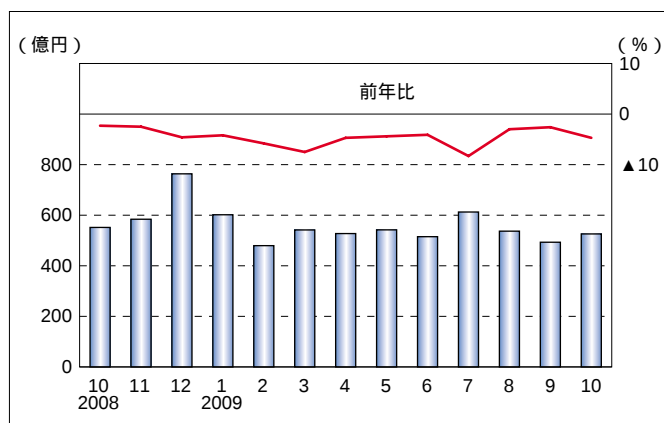
9月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は88.5と、前月比4.5%上昇しました。

総合指数の上昇は7ヵ月連続となり、生産活動は緩やかながらも持ち直し傾向が継続しています。

主要業種では、輸送機械が前月比11.2%と上昇した一方で、化学は同8.1%の低下となりました。

[大型小売店].....百貨店は減少、スーパーは微増

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

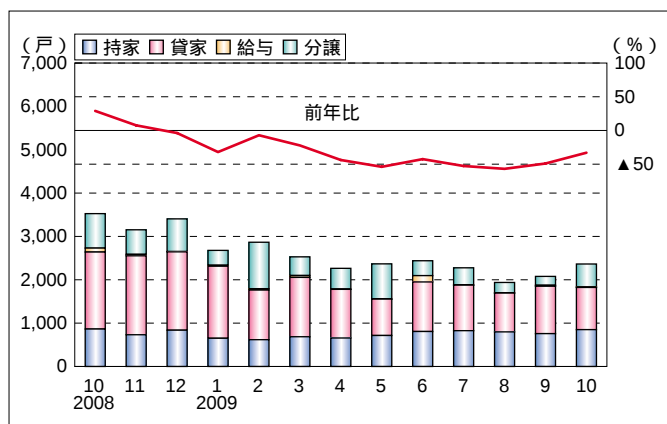
大型小売店全体では前年同月比4.7%減の526億円となり、15ヵ月連続の前年割れとなっています。

百貨店では、主力の衣料品などが引き続き低迷し、前年同月比11.7%減となりました。

一方スーパーでは、新規出店による売上増加が寄与したほか、飲食料品が堅調で、前年同月比1.7%増加しました。

[住宅建設].....11ヵ月連続の前年割れ、減少幅は縮小

福岡県の新設住宅着工戸数



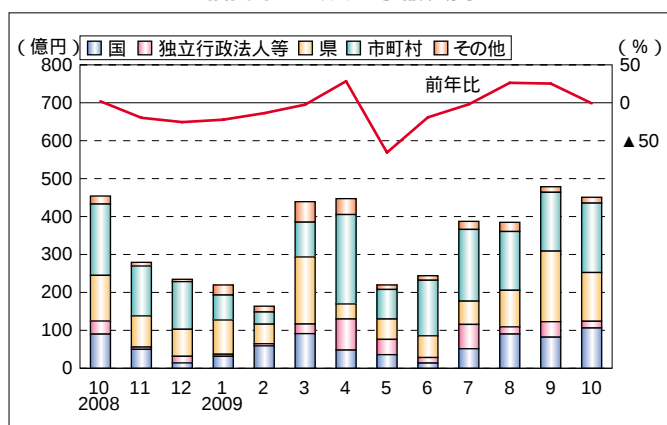
(出所)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比1.6%減の850戸、貸家で同45.2%減の973戸、分譲で同33.3%減の530戸となり、全体では同33.0%減の2,364戸となりました。

着工件数は貸家で11ヵ月連続、分譲は8ヵ月連続の前年割れとなりましたが、持家ではほぼ前年並みの水準となりました。全体では、前年比50%前後で推移していた減少率が33.0%に縮小しました。

[公共工事].....請負件数は増加、金額は微減

福岡県の公共工事請負高



(出所)西日本建設業保証

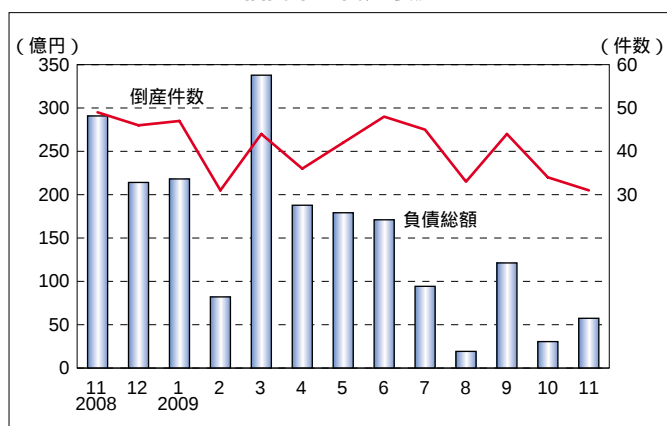
10月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数では前年同月比4.2%増の1,110件となったものの、金額が同0.7%減の451億円と、僅かながら3ヵ月振りに減少に転じました。

なお、ここ4ヵ月のトレンドをみると、景気対策としての工事前倒し発注などによる押上げ効果がうかがわれます。

国・県の発注金額は増加しましたが、市町村や独立行政法人等が減少したことで、合計では微減となりました。

[企業倒産].....倒産件数、負債総額ともに減少

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

11月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比36.7%減の31件となりました。

また負債総額は、大手マンションデベロッパーの破綻などにより290億円を計上した前年同月に比べ、80.3%減の57億4,000万円と大きく減少しました。

ここ2ヵ月間の減少トレンドは、景気対策による中小企業への資金支援策などが奏功したものと考えられます。

熊本県の最近の経済動向

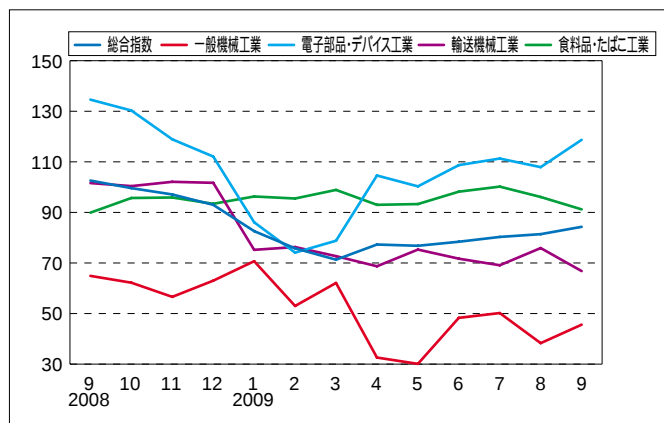
[熊本県の景気].....厳しい状況のなか、生産活動などに回復の動きが見られる

消費や住宅投資分野を中心として厳しい状況が続いていますが、生産活動などに回復の動きが見られます。

生産面では、電子部品・デバイスの増産などで、総合指数は前月比4ヵ月連続で上昇しました。また、公共工事は4ヵ月連続で前年比増加し、企業倒産の負債総額は低水準で推移しています。一方、所得環境は依然厳しい状況が続いており、個人消費や住宅建設全体は低調な状態が続いています。

[生産活動].....電子部品・デバイスの増産により、総合指数は4ヵ月連続で上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



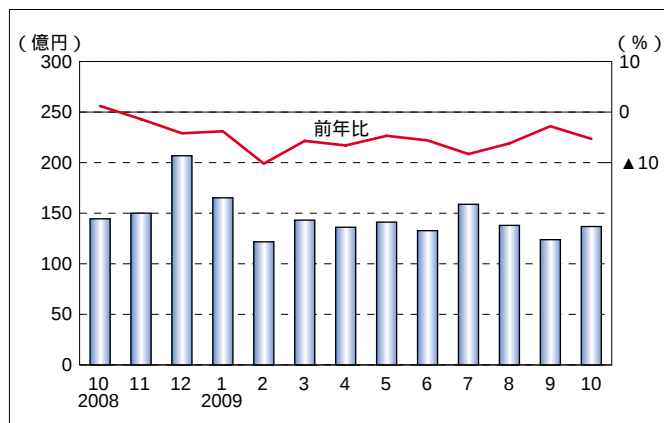
(出所)熊本県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は84.3と前月比3.6%上昇しました。

輸送機械や食料品・たばこは低下したものの、集積回路など電子部品・デバイスの増産で、総合指数は4ヵ月連続で上昇しました。

[大型小売店].....12ヵ月連続で前年比マイナス

熊本県の大型小売店販売額



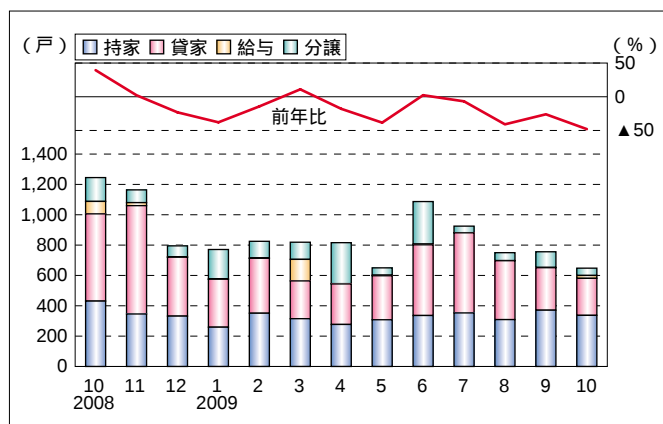
(出所)九州経済産業局

10月の県内大型小売店販売額は、前年比5.3%減の137億円と前年実績を下回りました。消費者の節約志向は依然強く、前年比減少は12ヵ月連続しています。

気温が高めに推移し主力の衣料品は前年比11.8%減、飲食料品は同1.6%減少しました。ただ、エコポイント効果で家庭用電気機械器具は前年比9.2%増加しました。

[住宅建設].....分譲などの落込みにより前年比48.0%減

熊本県の新設住宅着工戸数



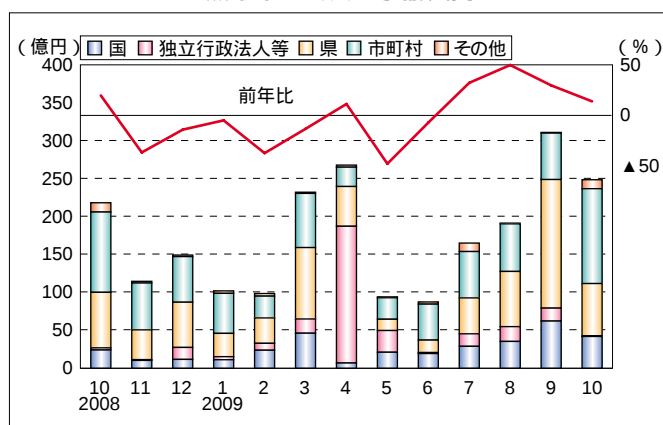
(出所)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比48.0%減の648戸と、4ヵ月連続で前年を下回りました。

所得や雇用環境の悪化により住宅建設は低調で、持家は前年比21.8%減の337戸、貸家は同57.6%減の244戸、分譲は同69.4%減の48戸と最も落込みが大きくなりました。

[公共工事].....件数は減少、請負金額は4ヵ月連続で増加

熊本県の公共工事請負高



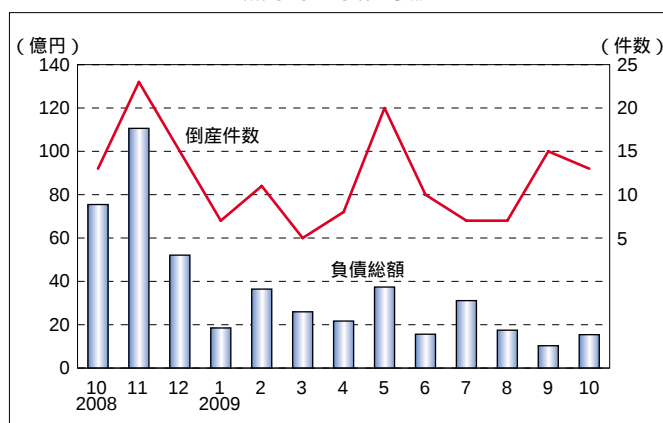
(出所)西日本建設業保証

10月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比2.8%減の777件、金額が同13.9%増の249億円と、件数はやや減少、請負金額は4ヵ月連続で前年比増加しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は八代港岸壁改良工事などで前年比74.0%増加したほか、「市町村」では山鹿市立病院改築工事などにより同18.2%増加しました。

[企業倒産].....負債総額は低水準で推移

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

11月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年と同数の13件、負債総額が同79.6%減の15億4,000万円となりました。

倒産は全て10億円以下の小口倒産で、緊急融資制度の効果などにより、負債総額は低水準で推移しています。

長崎県の最近の経済動向

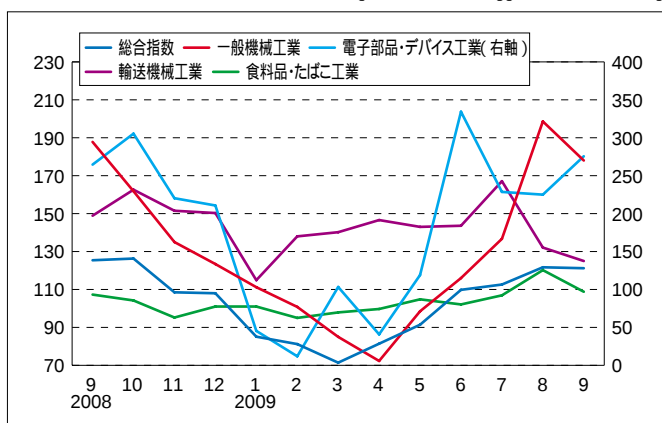
[長崎県の景気].....厳しい状況が続くなか、一部に持ち直しの動きが見られる

消費分野を中心に厳しい状況が続いていますが、生産など一部に持ち直しの動きが見られます。

生産面では、電子部品・デバイスは上昇したものの、一般機械などの低下により鉱工業生産総合指数は前月比横ばいとなりました。大型小売店販売額は前年割れが続いており、住宅投資の動きは弱く、公共工事は7ヵ月ぶりに前年比減少しました。また企業倒産は低水準ながら、負債総額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

[生産活動].....一般機械や食料品などが低下し、総合指数は前月比横ばい

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2000年=100)



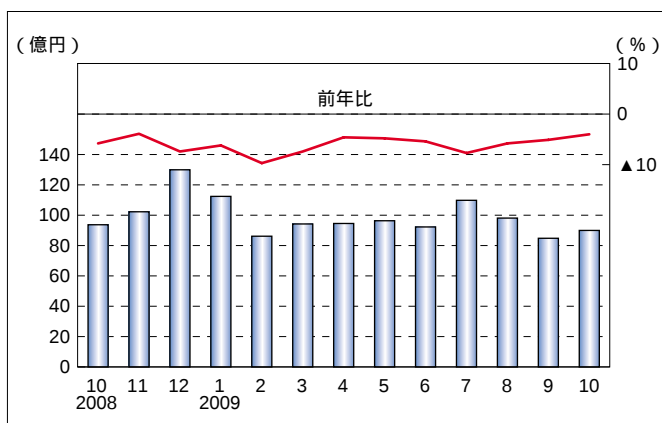
(出所)長崎県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比0.4%低下し121.2となりました。

電子部品・デバイスは半導体や水晶振動子の増産で上昇したものの、一般機械、食料品・たばこ、輸送機械などは低下し、総合指数も6ヵ月ぶりに低下しました。

[大型小売店].....売上減少続くが減少率は縮小

長崎県の大型小売店販売額



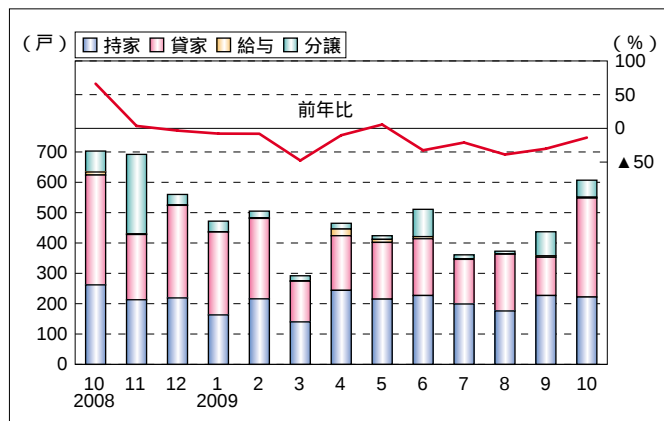
(出所)九州経済産業局

10月の県内大型小売店販売高は、依然減少が続く、前年比3.8%減の90億円となりましたが、減少率は3ヵ月続けて縮小しています。

主力の衣料品は前年比9.6%と大きく減少しましたが、エコポイント制度を活用した家庭用電気機械器具は同14.9%増加しました。業態別では、百貨店は前年比3.2%減、スーパーは同4.3%減少しています。

[住宅建設].....持家や分譲の減少などで前年比13.7%減少するも貸家は好調

長崎県の新設住宅着工戸数

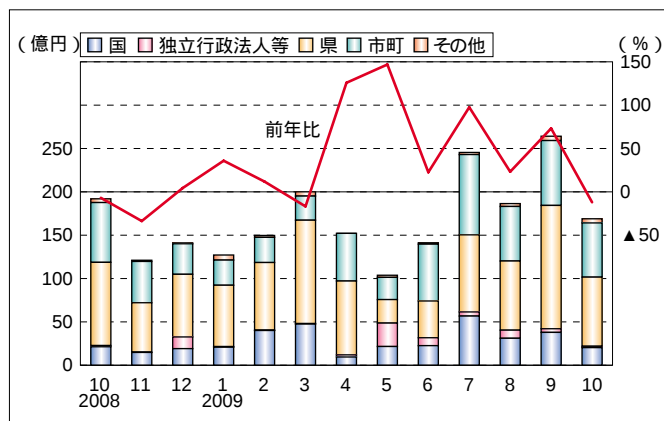


(出所)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比15.3%減の222戸、貸家では同9.9%減の326戸、分譲で同18.8%減の56戸となり、全体では同13.7%減の607戸となりました。但し、県北地区では進出企業向けの住宅供給の動きがみられ、貸家の着工戸数を押し上げています。

[公共工事].....請負金額は「県」や「市町」の発注減などにより7ヵ月ぶりに前年比減少

長崎県の公共工事請負高



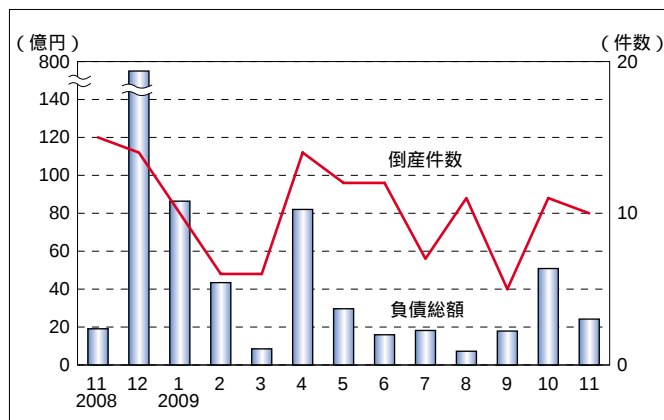
(出所)西日本建設業保証

10月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比3.2%増の512件、金額が同12.0%減の169億円で、前倒しでの発注が続いていた請負金額は7ヵ月ぶりに前年比減少しました。

大型工事としては、佐世保市高砂駐車場整備、松浦市阿翁地区広域漁港整備などがありましたが、発注者別で前年比増加したのは、「独立行政法人」(前年比12.6%増)、「その他」(同11.2%増)のみとなっています。

[企業倒産].....負債総額は2ヵ月連続で前年を上回る

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

11月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比33.9%減の10件、負債総額が同26.8%増の24億2,000万円となりました。

負債額10億円超の大型倒産はなかったものの、負債総額は2ヵ月連続で前年実績を上回りました。